



学校から家庭へ、地域から地域へ、そして世代から世代へ。
 いろいろな“学び”の姿をお伝えする教育プレス。保護者の皆さんへ教育のあれこれをお知らせします。



vol.56

熊本県教育庁教育政策課
 令和3年(2021年)3月

教職員等記章
 (平成15年4月導入)



ばとん・ぱす

熊本県教育広報誌

熊本県教育委員会



英語教育の一層の充実に向けて

Let's learn English together!

義務教育課 英語教育推進室

「英語教育日本一」に向け、令和2年4月1日に英語教育推進室を新設しました。英語教員の指導力向上やALTを活用した英語教育の充実、異文化交流体験(イングリッシュ・キャンプ等)、海外留学を積極的に推進していきます!



英語教育推進室の様子

「英語教育日本一」をめざして

自分の住んでいる地域や郷土熊本に誇りをもち、多様な文化をもつ人々と、英語で考えや気持ちを伝え合う児童生徒を育てます。

★目標(卒業時)

【小学校】

英語が『好き』になって『分かる』ようになる!

【中学校】

英検3級相当レベル以上の力をつける!

【高等学校】

英検準2級相当レベル以上の力をつける!

英語学習に興味をもち、異文化交流体験や外部試験等に積極的にチャレンジし、主体的に学び続ける児童生徒を育てます。

児童生徒向けの主な行事

令和2年度

モンタナオンライン学習(8月)

高校生がオンラインで州立モンタナ大学の先生から英語を学びました!

わくわくイングリッシュ・キャンプ(11月)



小学生が留学生と交流し、楽しく英語を学びました!(次年度は中学生向けにも実施)

スーパー・イングリッシュ・キャンプ(11月、12月)



熊本県立大学と連携し、中高生がALTや留学生と英語で社会問題を熱く語りました!

役立つ情報はホームページに!

検索キーワード

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/eepro/>

- ★英語で学ぶ豆知識(異文化理解)
- ★小学校 ★中学校 ★高等学校
- ★海外留学情報



熊本県
英語教育推進室

モンタナ
オンライン学習

モンタナ州の風景



(写真提供:モンタナ州政府観光局)



児童生徒の活動の様子等をたくさん掲載しています。ぜひご覧ください!

この記事に関する問い合わせ先:義務教育課 英語教育推進室 096(333)2705

自動操舵補助システム付大型トラクタと大型ドローンの導入 熊本農業高校・菊池農業高校

農業分野では、近年、作業の自動化や情報共有の簡易化、大量に蓄積されたデータの活用等、AIやIoT等の先端技術を活用した農業、いわゆる「スマート農業」が急速に進歩しています。

今回、熊本農業高校と菊池農業高校に導入された農業機械は、自動操舵補助システム（直進アシスト機能）付きの大型トラクタと農薬散布等に対応できる大型ドローンです。最先端の機械を操作しながら、今後の農業に関する技術を学ぶことができることとなりました。



自動操舵補助システム付き大型トラクタを運転する生徒



大型ドローンの機動性を確認する生徒

今般、農業の現場では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国人材の人手不足が深刻化しており、農業生産を維持することが急務となっています。

農業高校生に対しては、人手不足に苦しむ農家への支援が求められており、即戦力として活躍できる人材となるよう、事前に技術研修を実施する目的で、これらの農業機械が導入されました。

生徒には、最先端の農業機械を活用し、技術を習得するとともに、新しい農業の魅力を実感し、農業県である熊本、そして日本の将来の農業生産、農業関連産業を支える人材となることを期待しています。

なお、導入された最先端の農業機械は、熊本農業高校と菊池農業高校の生徒だけでなく、県内の農業関係高校（11校1分校）で学ぶ生徒や外部研修者等にも研修の機会を設け、広く活用します。



生徒の声



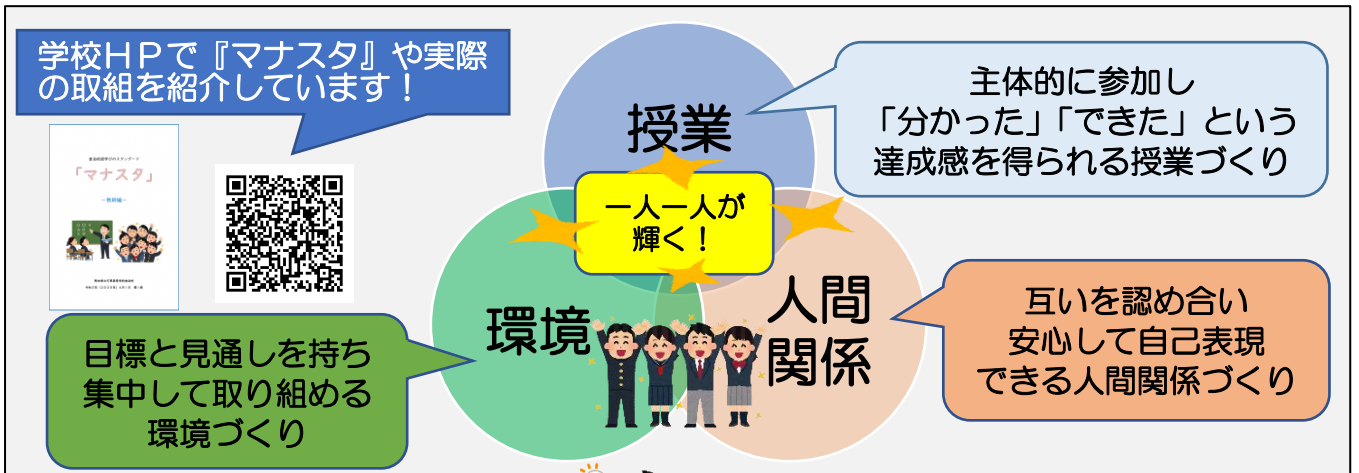
最新の農業機械が本校に導入され、次世代の農業技術を学習できることはとても嬉しいです。今後は地域農業経営者の方々と一緒に研修しながら、将来の就農ビジョンの参考にしていきたいです。

私は高校卒業後、雇用就農者になる予定です。私にもできる農業（畜産業）を目指し、頑張っていきます。今回導入された機械の講習会で、スマート農業の学習ができることを楽しみにしています。

この記事に関する問い合わせ先：高校教育課 096(333)2717

学校スローガン「倉校は一人一人が主役、だから君が輝く！」の具現化を目指して～天草高校倉岳校～

天草高校倉岳校では、県教育委員会の指定事業「学びのユニバーサルデザイン」構築事業の実践校として、学校スローガンの具現化を目標に取り組んでいます。そこで、教師と生徒がともに目標に取り組む、授業・環境・人間関係づくりの指針を、「倉岳校版学びのスタンダード『マナスタ』」として作成し、これに沿った取組を実践しています。



授業づくり

分かった！できた！



【学習形態の工夫】他者の考えに触れ、自分の理解を深めるために、グループ学習の時間を確保。

【振り返り】学習目標の達成度を確認するために、ワークシートに「振り返り」欄を設け、自己評価を行うことで、次の学習につなげる。



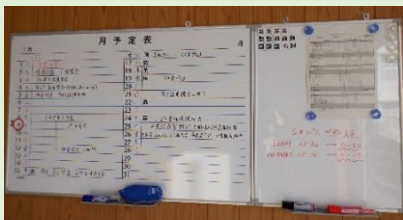
【成果】分からないところがあれば質問、教え合うことで「分かった」につながった。

環境づくり

集中！



【スケジュール管理・整理方法の見える化】学習に集中して取り組むことができるように、予定や準備物、棚の整理方法など視覚的に掲示。



【成果】予定の把握・物の管理につながり、学習に集中して取り組める環境ができた。

人間関係づくり

安心！



【ワークショップの実施】自分の強みや課題に気づき、他者を理解するとともに、コミュニケーション能力を身に付けるための学習を行う全校集会や学級活動を年間を通して実施。

【成果】自己理解や他者理解が深まり、多くの生徒が安心して学ぶことができている。また、挨拶や積極的な発表にもつながっている。



この記事に関する問い合わせ先：特別支援教育課 096(333)2683



～幼児期の終わりから小学校入学への円滑な接続のために～



幼児教育センター（義務教育課）では、接続の時期に認定こども園・幼稚園・保育所等と小学校が連携して取り組む事項について資料を作成し、園・所等と小学校・義務教育学校に配付しました。幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続については、それぞれの発達の段階を踏まえた活動を充実させ、お互いの教育・保育を理解し合い、子供の学びや育ちをつないでいくことが大切です。

認定こども園・幼稚園・保育所等

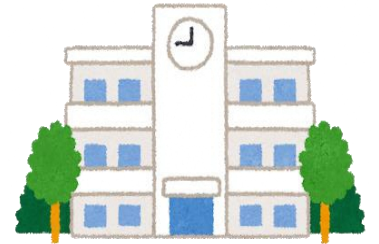


小学校・義務教育学校



連絡会等において確実な引継ぎを行い、子供たちが安心して小学校へ入学することができるようにします。

幼児期における遊びや生活を通じた学び・育ちを基礎として、小学校においても主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことができるように、スタートカリキュラムの編成を行います。



交流活動や情報交換、保育・授業の相互参観等を行い、連携を推進しています。

配付資料の詳細は、県教育委員会 HP をご覧ください。

<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/list178-699.html>



園・所等と学校、家庭、地域が連携し、子供の学びと育ちをつなげていきましょう。

この記事に関する問い合わせ先：義務教育課 096(333)2689

家族で体験、体感、感動を！ 県立青少年の家

（天草青年の家、菊池少年自然の家、豊野少年自然の家、あしきた青少年の家）



家族で朝食づくり
（あしきた青少年の家）



家族でフォトフレームづくり
（あしきた青少年の家）



家族で焚火体験
（豊野少年自然の家）

県立青少年の家4施設では、受入人数を定員の半数に制限し、食事、入浴、就寝時において「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いなどの手指衛生」等、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら利用者の受け入れを行っています。

なお、施設では学校の集団宿泊教室だけでなく、PTA や子ども会、家族単位でのご利用も受け付けていますので、ご利用の際は、各施設までお問合せください。

天草青年の家 Tel0969(56)1650

菊池少年自然の家 Tel0968(27)0066

豊野少年自然の家 Tel0964(45)3855

あしきた青少年の家 Tel0966(82)3092



この記事に関する問い合わせ先：社会教育課 096(333)2697

本物との出会いを大切に ～スクールミュージアム～

熊本県立美術館

熊本県立美術館では、平成18年より教育普及活動として本館収蔵作品を学校へ持ち込み、展示・鑑賞活動をする「スクールミュージアム」を開催しています。今年度は、小中学校、特別支援学校の8校で開催しました。子どもたちや、そこに住む地元の方々が、本物の作品（浜田知明とマルク=シャガールの版画作品）にふれる機会となっています。

～学びの流れ～

①美術館の紹介。
クイズを通して、鑑賞のポイントを学んだ後、作者について知る。



②本物の版画作品を鑑賞。
ワークシートにまとめる。



シャガール「サーカス」の女の子は、赤い服を着て、曲芸を頑張っています。でも、よく見ると、女の子は下を向いているし、周りの色が暗い青だから、悲しい気持ちなのかもしれません。発表より(小2)

③おすすめ作品について発表する。



～事後アンケートより～

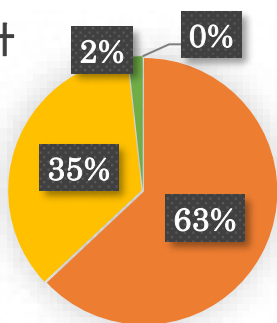
逃げたくても逃げられない戦争の苦しみなど、それぞれの作品には意味があるんだなと思いました。次に美術館へ行くときは、作品にかくされた意味を見つけてみたいと思いました。(小5)

日本の浜田さんと外国のマルクさんの作品では描くものは違うけれど“人”を描くにあたっては愛情だったり、悲しさだったり、感情は似ていて人を想っている作品なんだと感じることができました。(中3)



美術館や作品について関心が高まりましたか？

総計



【事後アンケート回答者数】

小学生 277人
中学生 242人

- とてもそう思う
- 思う
- あまり思わない
- 思わない

最初は、難しいと感じているようでしたが、作品とじっくり向き合うことで発見があり、そこから作者の思いを自由に想像することを楽しんでくれました。また、作者について知ることによって、作品がより身近に感じられたようです。

4月3日(土)より「45周年記念 感謝をこめて 魅せます! 美術館コレクション」展を開催し、当館えりすぐりの作品を紹介します。ぜひ、ご家族で楽しんでいただけたら幸いです。

この記事に関する問い合わせ先：熊本県立美術館 096(352)2111

編集・発行：熊本県教育庁教育政策課

〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

Tel: 096(333)2699 Mail: kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

☆本誌に対するご意見やご感想はお気軽にどうぞ☆